

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1161	(H.22)No.	1161
-----------	------	-----------	------

事務事業名	放課後子ども支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 19 年度 ~ 平成 年度		
事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業		
	扶助費		
	補助金交付金		
	投資事業		
	施設等維持管理		
	内部管理事務		
特別及び企業会計、組合			

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	1	社会参加活動の促進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	501101
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	放課後子ども支援事業
項	社会教育費	(小事業名)
目	社会教育総務費	放課後子ども支援事業

3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
各小学校区単位での放課後子ども教室の開催	すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進します。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施 4校区、延べ60回実施	[事業内容(事業量)・事業費] 地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施 6校区、延べ120回実施予定	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施	地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施	地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施
直接事業費	722千円	1,552千円	1,592千円	1,758千円	1,926千円
財源内訳 (千円)					
国庫支出金					
県支出金	688	1,034	1,061	1,172	1,284
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 34	518	531	586	642
人工数					
職員	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人
臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 2,725千円	2,725千円	2,725千円	2,725千円	2,725千円
+ 総事業費	(0千円) 3,447千円	4,277千円	4,317千円	4,483千円	4,651千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	回	-	-	-	-	488
	実績		22	88	146		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	放課後子ども教室事業は、県の補助対象事業であるが、制約が大きいため同種の事業を独自事業として実施している地域が増えているため、状況の把握が必要である。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
「放課後子ども教室」は平成23年度から「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」として「学校支援地域本部」等と有機的に組み合わせる方向で検討されています。(平成23年6月現在詳細未定)	「放課後子どもプラン」において、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」が一体的または連携して実施することとされていますが、名張市においては、放課後児童クラブが先行実施されているため、競合することのないよう配慮が求められています。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 拡大推進	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」として検討の余地がある。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」の有効活用を図ることで補助金の確保の余地がある。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		地域づくり組織が別途実施している子どもの健全育成事業との連携が可能である。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(拡大)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」の有効活用を図ることで補助金の確保の余地がある。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 放課後児童クラブや地域づくり組織が実施している事業との統合の余地がないか、実態の把握に努める。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1170	(H.22)No.	1170
-----------	------	-----------	------

事務事業名		成人式行事経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	508504
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	青少年健全育成事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	青少年対策費	成人式行事経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>新成人を祝う式典開催により、新成人に大人としての自覚を持たせ、責任ある行動、社会参画の意識を持たせることを目的とする。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>新成人を祝う式典開催により、新成人に大人としての自覚を持たせ、責任ある行動、社会参画の意識を持たせることを目的とする。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 成人の日の前日(日曜日)において名張市成人式を開催	[事業内容(事業量)・事業費] 成人の日の前日(日曜日)において名張市成人式を開催	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
			補助金・交付金	その他 ()		
直接事業費	454千円	495千円	495千円	495千円	495千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 454	495	495	495	495	
人工数	職員	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人
	臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 2,725千円	2,725千円	2,725千円	2,725千円	2,725千円	
+ 総事業費	(0千円) 3,179千円	3,220千円	3,220千円	3,220千円	3,220千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	成人式への出席率(実施年度)	%	77.0	72.0	74.5	
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		少子化の進行している世代であり、参加者数での指標はふさわしくない。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
少子化の進行により、対象者の大幅な減少が進む。	対象者が減少しているため、会場を総合体育館からADSホールに変更すべきではないか。 新成人のマナーが悪いので、実施体制や内容を検討すべきではないか。 音響、仮設舞台を改善すべきである。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない	ボランティアの活用
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	実行委員会方式により協賛金を活用できる余地があり、努力しているが、協力を得ることが難しくなっている。	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	新成人のニーズを的確に把握し、内容に反映する。	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(拡大)	これまで、事業の廃止を含め、経費の削減に努力してきたが、結果として質の低下が指摘されている。 全国的行事であり、市民も行事の廃止は全く想定していない中で、無理な経費削減はせず、必要な経費は確保し、実施しなければならない。
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 新成人のニーズを的確に把握し、内容に反映する。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 全国的行事であり、市民も行事の廃止は全く想定していない。大きなニーズがある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1171	(H.22)No.	1171
-----------	------	-----------	------

事務事業名		青少年健全育成事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	508501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	青少年健全育成事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	青少年対策費	青少年健全育成事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>安心安全な環境づくり……名張少年サポートふれあい隊事業、有害環境一掃大作戦、あぶない標識設置事業、「子どもを守る家」事業 健全育成体制の充実……青少年ボランティア人材育成事業、なばり子どもセンター事業</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>青少年を取り巻く環境が厳しい中、関係機関との連携と、市民ボランティアの協力により、非行防止、環境浄化活動による安心安全な環境づくりに取り組み、青少年の健全育成に取り組みます。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)
主な事業の実績・計画	<p>[事業内容(事業量)・事業費] ・名張少年サポートふれあい隊事業 年間延べ100回の街頭パトロール ・有害環境一掃大作戦 青少年の環境浄化活動を7月第1土曜日に実施 ・あぶない標識設置事業 標識を製作し年間を通じて危険箇所の点検・標識の設置 ・「子どもを守る家」事業 年間を通じて不審者対策として協力者宅に設置 ・青少年ボランティア人材育成事業 ジュニアリーダーの養成 ・なばり子どもセンター事業 子どもの体験活動情報を年間を通じ提供</p>	<p>[事業内容(事業量)・事業費] ・名張少年サポートふれあい隊事業 年間延べ100回の街頭パトロール ・有害環境一掃大作戦 青少年の環境浄化活動を7月第1土曜日に実施 ・あぶない標識設置事業 標識を製作し年間を通じて危険箇所の点検・標識の設置 ・「子どもを守る家」事業 年間を通じて不審者対策として協力者宅に設置 ・青少年ボランティア人材育成事業 ジュニアリーダーの養成 ・なばり子どもセンター事業 子どもの体験活動情報を年間を通じ提供</p>
直接事業費	474千円	585千円
財源内訳(千円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他()		
一般財源	(0) 474	585
人工数		
職員	0.65人	0.65人
臨時職員等	0.17人	0.17人
概算人件費	(0千円) 5,034千円	5,034千円
+ 総事業費	(0千円) 5,508千円	5,619千円

現在の実施手法(複数選択可)		
市が直接実施		
業務委託(全部・一部)により実施		
指定管理		
補助金・交付金		
その他 ()		
平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
同左	同左	同左
585千円	585千円	585千円
0.65人	0.65人	0.65人
0.17人	0.17人	0.17人
5,034千円	5,034千円	5,034千円
5,619千円	5,619千円	5,619千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	青少年ボランティア数	-	-	-	-	50
	実績		47	55	57		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	ジュニアリーダーは中学・高校生に限られるため、増減が激しい。シニアリーダーは、高校卒業以降の者が対象となるが、25歳以降で活動への参加が極端に減るため、成果指標としての見直しが必要である。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成21年7月制定の子ども若者育成支援推進法で、就業支援やひきこもり対策など、さらに広範囲での支援体制の構築が求められている。	事業内容が広範で多くの団体や関係者が関わるため、関係団体の整理が必要である。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 市民公益活動団体等	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 拡大推進	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	民間活動を詳細に把握し、同種の事業を共同実施できるよう働きかける。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	学校教育との連携 子育て支援関係施策との統合	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	新しい補助制度に対応した事業の見直しを進める。	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	名張市青少年育成市民会議の構成団体を中心に、各種団体の実施事業を活用する。	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 協働をさらに推進し、協働の相手方との課題を共通化することで、民間の協力を積極的に受け入れる。	現在、名張市青少年育成市民会議を核とする、青少年健全育成ネットワークの再構築を進めている。一方で、地域づくり組織との連携に向けた働きかけを開始したところである。
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 青少年教育の根幹となる事業である。名張市青少年育成市民会議の充実と地域づくり組織との連携強化により、全市的な協働事業を浸透させる。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3078	(H.22)No.	3078
-----------	------	-----------	------

事務事業名		青少年健全育成事業補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	508505
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	青少年健全育成事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	青少年対策費	青少年健全育成事業補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
青少年育成市民会議を中心に、市民会議を構成する諸団体と連携して事業を推進するために、事業補助を行う。	

めざす効果(事業目的)
市民との協働により効果的な青少年健全育成活動を実施することができる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 補助金の支出	[事業内容(事業量)・事業費] 補助金の支出	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			補助金の支出	補助金の支出	補助金の支出
直接事業費	228千円	228千円	228千円	228千円	228千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 228	228	228	228	228
人工数	職員				
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 228千円	228千円	228千円	228千円	228千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	50
	実績		47	55	57		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	ジュニアリーダーは中学・高校生に限られるため、増減が激しい。シニアリーダーは、高校卒業以降の者が対象となるが、25歳以降で活動への参加が極端に減るため、成果指標としての見直しが必要である。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
次世代育成の観点から、重要性はますます高まる。	市との協働団体であるので、補助金の支出だけでなく事業に積極的に関わるように。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 市民公益活動団体等	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成	協働等の今後の取組について 拡大推進	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる		備考欄(工夫・改善等を記載) 他の補助制度の活用
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		子育て支援関連事業との統合
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		継続的な財源の保証ができる財源を確保する。
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		民間活力のさらなる活用

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 子どもわかもの育成財団の助成を受けることを勧め、最終的に必要となる額だけを補助する。補助を受けられなかったときは、市の予算額を確保していることで、事業の計画が立てやすくしている。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 現在の予算額を上限として保証しながら、他の補助制度を効果的に活用することで、必要な額だけを補助する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6115	(H.22)No.	6115
-----------	------	-----------	------

事務事業名		社会教育施設等管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		教育総務室		今井寛	63-7849
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	500504
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	社会教育総務費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	社会教育総務費	社会教育施設等管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
補導センターにおける嘱託員、籐堂家邸・夏見廃寺における事務員の賃金	

めざす効果(事業目的)
青少年の非行や犯罪の防止 籐堂家邸・夏見廃寺の適切な管理

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 補導センター嘱託員 3名 籐堂家邸事務員 3名 夏見廃寺事務員 3名	[事業内容(事業量)・事業費] 補導センター嘱託員 3名 籐堂家邸事務員 3名 夏見廃寺事務員 3名	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()			
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			補導センター嘱託員 3名 籐堂家邸事務員 3名 夏見廃寺事務員 3名	補導センター嘱託員 3名 籐堂家邸事務員 3名 夏見廃寺事務員 3名	補導センター嘱託員 3名 籐堂家邸事務員 3名 夏見廃寺事務員 3名	
	直接事業費	6,736千円	7,737千円	7,737千円	7,737千円	7,737千円
	財源内訳(千円)					
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他()						
一般財源	(0) 6,736	7,737	7,737	7,737	7,737	
人工数						
職員	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	
臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 584千円	584千円	584千円	584千円	584千円	
+ 総事業費	(0千円) 7,320千円	8,321千円	8,321千円	8,321千円	8,321千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	青少年センター・名張藤堂家邸跡・夏見廃寺 展示館の入場利用者数	-	-	-	-	205,000
	実績		44,288	35,007	43,333		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の 対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 青少年の非行や犯罪防止、施設の管理として必要である	